

取引を行つたが當日の出荷は百五十六貫九三で產地は同郡大野、草野、小川方面の最早場ものであつた出來榮えは上場期に於て降雨に遭つた若干の影響を見せたるも通じて良く相場は高値五圓八十錢、安値四圓五十錢、平均五圓七錢に取引され昨年の初取引高値九圓二十錢、安値四圓五十錢、平均四圓八十八錢に比して十九錢高を唱へ鑑家側を喜ばしてゐるが先き行き豫想はして二十八名の候補者が猛烈

選舉結果

四倉市場の初取引

倉市場の初取引
昨年より十九錢高
高五・六五安四・五〇馴五・
初日出荷一五六貫

神奈川県立水産試験場
任 河合本縣土木課長同伴
谷平土木監督所長の案内で石
城郡下に於ける

辰馬技監の來平に 國道舗裝の陳情

日赤沙引一ヶ月廿五日
郵稅十五錢一部二錢
廣告料一元四十錢
場所指定二十錢
發行兼營郵局印刷
谷政喜
新島平市大町二三
新刊社

國境に數千個所設けてあると云ふ小要塞で交番の二、三倍位の圓筒形をなし周圍を混凝土で堅固にかため中から機関銃その他で狙撃をする様に出來てゐる。各農家から其の奉仕喜ばれてゐると

軍事講演會

講演會
須賀の木
城關中佐
は今十四日午
車で歸郷する
中平達小室正行
中は
勝榮 上平寛草吉源
磐女の蛔虫 関區

除
吉
監 鈴木
田町方面を荒した竈修繕の詫
欵宮城縣登米郡米谷町生れな件
所不定前科二犯の左官屋長澤賀
松吉(四〇)今十四日午前十一時
平岡の公判で検事の求刑通り
一年六ヶ月の懲役を宣告され

平橋北詰 南町口の丸モ一
タ一 白銀町 堂の前 平
窪市役所出張所 田町 新
川町 才穂小路 月見町
二丁目 小太郎町 紺屋町
鎌田 新町 平大館

託兒所

次第を質したところ東京市電
井戸太田喜一郎(玄)と稱し生
活に困つて勿來町關山に居る
と聞えた兄弟分を尋ねて來た
が不明のため途方に暮れて財
布の底を叩き勿來から中村ま
での切符を求めて乗車の途上
泉驛で乗車券の検査に會つた
際確かに買つた切符がなくて
湯本驛で下車させられた次第
を語り是からば仙台市常盤町
に居る筈の妹しづを尋ねる外

語つてゐる
平製で、文章したいもの六
大谷六段來平

席のため青森へ出張上
頃歸宅の豫定に候、青森
にて關内正一拜

高島屋洋服店
平二郎三六五七日
理仕出久喜水天井ん

昨日の 達競争

西松
名、植田の同業を聯合する
城發妓置屋組合は此の程半
に於て各町組合幹部を會同
發會式を擧げ規約の制定並
役員の選任を左記に決した
聯合會の目的は藝妓の技術
上と同業者の親睦を圖り發

右開催の苦であるが今後毎春秋二回各地輪番で定時總を開かれる由である

會長 鈴木重助(平)副會長
田壽三郎(四倉)幹事各町
合長 常任幹事國府田直
鈴木武雄(平)以上

男の溺死体あるを發見届出に
より平署の檢視あつたが原吉
身許等目下取調べ中である

| 青果市況 | | 中央整備委員会野球部 | |
|------|------|------------|---------|
| 品名 | 下記 | 中央青 | 市調(厘単位) |
| 玉葱 | (販) | カブ(十把) | 三〇 |
| 夏大根 | (一本) | ニシキ | 一〇 |
| 馬鈴薯 | (販) | ニシキ | 一〇 |
| 筍 | (販) | ニシキ | 一〇 |
| 蕉 | (百把) | ニシキ | 一〇 |
| 牛蒡 | (圓) | ニシキ | 二〇 |
| 蓬連草 | (百把) | ニシキ | 二〇 |
| ワカツメ | (販) | ニシキ | 一〇 |
| 茶菜 | (七把) | ニシキ | 一〇 |

市五町聯合の 藝妓置屋組合成立

總會 小名築港 潑死 放浪者

石城郡豊間村生まれ佐藤勝正(三)
七は無錢飲食常習のルンベン
で前科二犯の男だが同人の姉
欺事件は今十四日午前十時の

家から其の奉仕に非常に
れてゐると
水戸へ遠征
業校の野球部は昨十三日
へ遠征茨工及び水高に對
試みたが一勝一敗の戰績
つた

軍事講演

龍修繕詰拂罪 石城耕樹
田町方西を荒した龍修繕の詐
欺宮城縣登米郡米谷町生れ住
所不定前科二犯の左官職長澤
松吉(四〇)今十四日午前十一時
平區の公判で検事の求刑通り
一年六ヶ月の懲役を宣告され
て服罪す
草を服させ岬虫驅除をなす
立壁城高文では今十四日及
明十五日二日間全生徒に海
譽女の蛔虫驅除
勝榮 上平 寒草 菅源吾
中平窪小室正行 中越 鈴木
で歸郷する
午後四時四十分平野着列

